

森村学園 中等部・高等部

市進学院主催 学校訪問会レポート
2019年 6月 20日 (木)

2019年6月20日、天候もよく初夏を感じさせる陽射しの中、森村学園中等部高等部の学校訪問会が行われました。

明治43年(1910年)に創立された本学は、2010年に創立100周年を記念し新校舎が完成しています。



2019年4月に着任された江川校長よりごあいさつをいただきました。

校訓となっている『正直・親切・勤勉』は、TOTOやノリタケなど日本のセラミック産業の創始者でもあり、本学の創立者でもある森村市左衛門が実業界での実践から生まれてきた言葉であるとのことでした。

また『進路指導』と『進学指導』を生徒一人ひとりの夢の方向性を探り、実現させていく両輪ととらえ、6年間かけてサポートしていく、とのお話がありました。



説明会のあとは校内見学でした。子どもたちが集中して授業に臨む姿を見ることができました。

校舎中央は地下1階から地上3階まで吹き抜けとなっており、明るい陽射しが入ってきます。また約5万5千冊の蔵書を誇る図書館も完備されており、充実した教育環境が整備されています。



日本人らしい表現方法を理解しつつ、国際社会で生きていくために必要となる言語技術の習得方法について森村学園が大切にしていること、その教育理念・教育方針について、先生方から熱心にお話しいただきました。